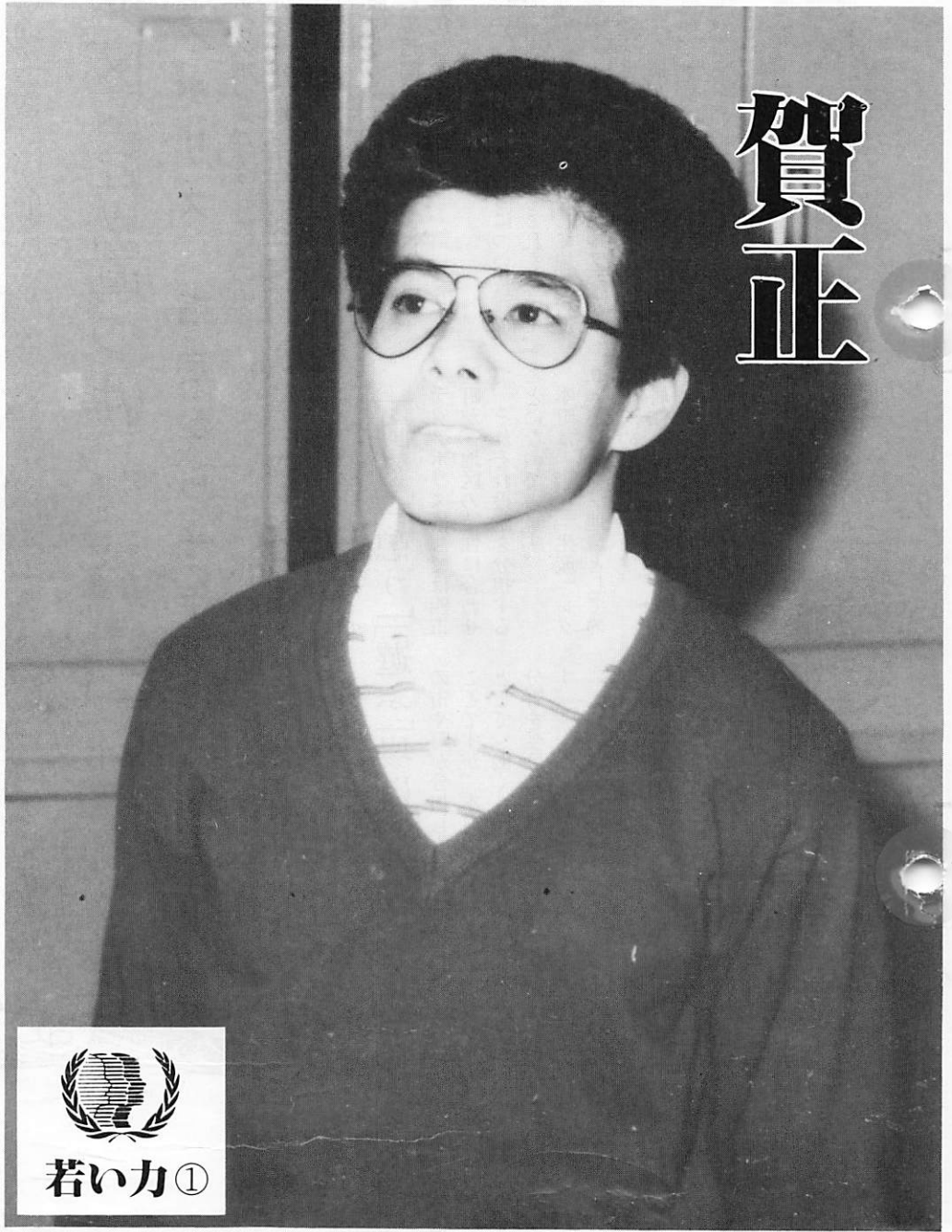


広報あじす 毎月5日 発行
お知らせ版 毎月20日 発行
山口県吉敷郡阿知須町
発行 阿知須町役場
電話 4111番代 ☎754-12
印刷 よしの印刷株式会社

賀正



自主グループへの参加を 町青年団長

山辺 国男さん
(小古郷南)

「今の青年団は昔の青年団とは内容が違うことを、みなさんに理解して欲しいですね」と語るのは町青年団長の山辺国男さん。

「昔の青年団は極端な言い方をすれば、みんなで遊ぶという色彩が強かったと思います。しかし、現代社会では、遊ぶうと思えば無理にみんなが集まらなくても、一人でも遊ぶことができるんですよ」と、遊び主体の

青年団活動は現代では通用しないことを訴える。

それだけに団員を集めるのもむづかしいようだが「現在十五人の団員がいます。みんな仲間づくりが目的のようですよ。盆踊り大会や産業祭などへの参加がすべての目的ではなく、その中の仲間づくりが重要だと思っんです」

約二年間、青年団長を務めて「今は青年団そのものに意義が



若い力①

◆ ◆ 今年 は 国際青年年

あるように思えてきました。同じ年代の人たちにも、何か自主的なグループへの参加とその中の仲間づくりを勧めたいですね」

◆ 昨年の春に結婚した三由紀さんと二人住い。二十二歳、小古郷南 宮重ボンブ店勤務。

◆ 未来を築く——それはいつの時代も青年の役割です。

◆ 家庭、地域社会、国際社会など青年を取り巻く「社会」はさまざまですが、青年が自らの意思、判断、活動によって積極的に社会参加を進めていくことが求められています。

◆ 昭和六十年は国連の定めた国際青年年。

◆ 「参加、開発、平和」というテーマのもとに青年が社会参加をどのように進め、また自分たちに与えられた課題にどのような取り組みべきか——国際青年年への青年の主体的、積極的な参加が期待されています。

4846



町長 三好 正之

年頭の辞

明けまして おめでとございます 皆様と共に、輝やかしい昭和六十年の新春をお迎えする

ことができましてしたことを、心より、およろこび申し上げます。 さて、今年の地方行政をとりまく、経済その他の諸情勢は、昨年に比べわずかの上昇傾向にあるとはいえ、依然として厳しいことが予測されますので、今後の動向を十分把握しながら、的確に対応しなければならぬと思っております。

今年度も「対話と協調による和の政治」の実践により、本町がますます「活力と潤いのある町」に発展することを念願して、全力を傾けて努力いたします決意であります。 どうか今年も、皆様方の変らざるご鞭撻と、ご協力とお願ひ申し上げますとともに、皆様方お一人、お一人がご健康で心豊かな年でありますことを、心より念願いたします。



て、新年のごあいさつといったします。

中心開発区に位置づけ

テクノポリス、指定から一年

宇部フェニックステクノポリスが全国九地域の中の一つとして地域指定を受けたのは五十九年三月でした。それから約一年、宇部テクノポリス建設推進協議会でいま具体的な計画をねつています。そこで、このテクノポリス建設はどのように進んでいるのか、そして、阿知須町はどの方向に展開しようとしているのか、その動向を紹介しましょう。

七十五年を目標に

「テクノポリス」というのは英語のテクノロジ（科学技術）とギリシャ語のポリス（都市）とを結びつけてつくった用語で「高度技術集積都市」という意味で使われています。

これは昭和五十五年に産業構造審議会が通産大臣に答申した「一九八〇年代の通産産

ゴルフ場 周辺

も含めて、山口県の中央部としての一大展開をはかろうとする構想もあります。 宇部テクノポリス建設を進

「働く」「憩う」「遊ぶ」場に本町の

テクノポリス構想では四市四町が、地区の特性に合わせ、それぞれ役割を分担することになっていきます。 本町は「居住」「生産」「レクリエーション」地域としての整備をめざしています。

居住とは住宅の整備もありますが、それに付随する環境、都市施設の整備等も含まれます。

私たちの生活は「働く」「学ぶ」「憩う」「遊ぶ」ことに大別されます。それを、それぞれ

めるために、四市四町と山口県が一緒になって「宇部テクノポリス建設推進協議会」を結成、基本構想（長期）開発構想（中期）をまとめ、現在開発計画（短期）を策定中です。長期的には概ね昭和七十五年を目標とし、短期的には六十五年を一応の目安としています。

の市や町が分担しようという ことですが、本町の場合、主として「働く」「憩う」「遊ぶ」分野を受け持つこととなります。

四市四町が役割りを分担する といながらも、宇部、阿知須、山口にかけて重点的に 整備しようというところがあ

学術研究区域 宇部市
中核工業団地 山口市
居住地域 阿知須

迎春

阿知須町役場

- 町長 三好 正之
- 助役 蔵富士和男
- 収入役 藤田 研介
- 委員 工藤 靖夫
- 委員 芥川 貞一
- 委員 萩野 憲章
- 委員 藤井 直澄
- 委員 井本 操

阿知須町教育委員会

- 委員長 工藤 靖夫
- 委員 萩野 憲章
- 委員 藤井 直澄
- 委員 井本 操

阿知須町議会

- 議長 重村 勇
- 副議長 松浦 有朋
- 総務委員長 小林 武男
- 副委員長 武永 典寿
- 委員 飯田 宏史
- 委員 松本 隆夫
- 委員 沢田 隆夫
- 委員 徳永 孝一
- 委員 上野 政藤
- 委員 山下 義明
- 委員 岡藤 豊
- 委員 中村 徳男
- 委員 中野新一郎
- 委員 上山 隆之
- 委員 石川 二郎
- 委員 桂 直樹
- 委員 竹原 繁雄
- 委員 長久 清忠
- 委員 伊藤 繁

阿知須町監査委員

- 委員 伊藤 繁
- 委員 長久 清忠
- 委員 竹原 繁雄

阿知須町農業委員会

- 会長 松崎 照雄
- 委員 井本 知
- 委員 上田 太一
- 委員 片山 博
- 委員 酒井 好孝
- 委員 田村 三正
- 委員 武永 輝男
- 委員 中戸 剛
- 委員 前野千代治
- 委員 岡藤 豊
- 委員 小野 勝久
- 委員 山本 輝義

農業共済 阿知須町

- （議会推せん） 前野千代治
- （農共済推せん） 岡藤 豊
- （農協推せん） 小野 勝久

阿知須町選挙管理委員会

- 委員長 木原百合雄

うし 丑年 生まれ

年男・年

今年は丑年。そこで「年男・年女」の人にももらいました。

夫婦で還歴、まだがんばる

藤永 正治 (大14年生、小西) フミ子



孫の智子ちゃんと

還歴とは自分の年の干支に

再び返ることだと申しますが、私たちが夫婦揃って還歴を迎えるというのはうれしき限りです。

二男二女の子どもたちもそれぞれ父となり母となり、現在内孫二人、外孫四人に囲まれて「じいちゃん」「ばあちゃん」と呼ばれる身となりました。

仕事を終え、わが家へ帰ると先ず孫に声をかけ、孫を中心に日々を送る生活です。家内は母として、祖母として子や孫から慕われることを、このうえないよろこびのよう感じています。少しばかりの畑で、野菜を

生き残れる畜産経営をめざす

福嶋 経男 (昭24年生、井関)



の役員などもやらしていたのですが、いろいろ勉強

私は四年前から肥育牛専業として農業に従事して来ましたが、現在、飼育している牛は百余年です。

数年前までは牛の値段の周期が二、三年間隔で、景気は活気づいていました。ところが現在は海外からの貿易の自由化(枠拡大)などにより牛価が低迷し、厳しい状況が続いています。

これからの畜産経営は毎日同じことをやるよりも、より斬新な飼育方法で、しかも自分でいろいろの変化をつけて



になります。私は、何でもやってみるとよい、引込み思案はダメだと思っています。うし年生まれは、ねばり強いと言われますが、私は今年一年健康に気をつけながら、趣味を生かして、みなさんと仲良く過して行きたいと思っています。

いくという「創意と工夫」が大切だと思います。地域の畜産関係者のみなさんとの組織的な活動を強めながら、生き残れる畜産経営をめざしてがんばりたいと思います。

「子育て」にがんばりたい

北村 恵子 (昭36年生、北祝)

現在、私には子どもが一人います。今月、二人目が生まれる予定です。私と同じ半年です。私は女の子がほしいのですが、今のところ男の子みたいです。



長男の祥ちゃん

いなので、がっかりしていません。しかし、元気な子どもであれば幸福だと思わなければいけないと思います。子どもを育てることは大変な役目です。自分のやりたいことも出せず、一日中家の仕事ばかりしなければいけません。

昔のことわざで、親になって初めて親の恩が分かると言いますが、本当にその通りだと思えます。親になったからには、少しずつ勉強して良い手本を見せるように努力しなければいけないと思います。これからの世の中は不安ですが、今は子どもが、素直で人に負けない粘り強い元気な子に育ってくれることを祈らずにはいられません。出産後は広島へ移ります。



焼野	青畑	仙在	引野	向野	源河	河内	杖川	野口	井関	赤迫	浜表	岡松	門北	旦西	旦東	旦上	岩倉	岩倉	岩倉	岩倉	沖原	飛石	砂郷	砂郷	砂郷	浜	
野	畑	在	野	野	河	内	川	口	関	迫	表	松	北	西	東	上	倉	倉	倉	倉	原	石	郷	郷	郷	郷	
吉本	末広	谷本	大田	村田	石田	西村	久都	林	佐藤	古川	大空	井本	玉木	林間	縄田	木原	上野	伊藤	金子	下野	田中	向山	岡部	岡部	西田	山田	石田
金雄	寿江	常雄	源太郎	輝雄	信義	正文	内博	昇	昭典	洋右	旭男	豊幸	克己	英世	晃一	俊典	篤弘	康雄	昭	ハナ子	寿男	昭治	安雄	正雄	雄次	義香	
同上	同上	板井	国重	伊藤	片岡	兼重	岡野	福本	河野	大下	永山	伊藤	伊藤	同上	伊藤	上野	武野	西竹	下河	田辺	河村	同上	網田	松代	重永		
		進	輝子	由美	朝子	サヨ子	フジエ	一平	希子	良子	睦子	清子	ヨシ子		美佐代	政藤	千恵子	四郎	誠	久子	義人	林	誠一	光正	義一		

町の住民登録人口		前月比
(59年12月20日現在)		
世帯	2,264世帯	+ 4
人口	8,388人	+ 6
(男 3,904人 女 4,484人)		
(国勢調査 昭和55年10月1日)		
世帯	2,283世帯	
人口	8,327人	
(男3,887人 女4,440人)		

21世紀を担う人づくり

「60年代の教育について思うこと」

今年、昭和六十年代のスタートの年です。
そこで、町内三校の校長に「二十一世紀を担う人づくり——六十年代の教育について思うこと」を記していただきました。

阿知須小学校長

常 田 泰 雄



できる「自ら学びつづける人間性豊かな日本人の育成」をしなくてはなりません。
この来るべき社会へ即、対応できる人間の基礎づくりが、現在私たちに与えられた重要な使命であることを痛感します。

さて、昨年の教育調査から、現在教育の最重要課題として、
①子どもに自然との触れ合いを深めさせ生活体験を豊かにしていく。
②道徳教育を重視し、子どもの心を育てる。
③学校が家庭社会とのかかわりを深め、二人三脚で教育を深

二十一世紀はまさに、情報化・国際化・高齢化・成熟化へと大きく変貌することは間違いないでしょう。このためには、主体的・創造的で国際社会に貢献

阿知須中学校長

水 上 義 昭



次代を担う青少年の健全育成これは教育基本法第一条にうたわれ明定されているように、教育における究極の目的であり、その推進は今や国民的課題となっている。折しも、国が新たな教育改革を目指して発足させた「臨時教育審議会」も活動を始めた。もちろん、われわれ教育現場に携わる者も、学校教育の持つ多くの課題解決に鋭意努力を続けている。

しかしながら、わが国現代の世相と風潮を直視するとき、それは子どもたちの健全育成を目指す教育環境としてはあまりにも不健康であると言わざるを得ない。子どもたちは、学校環境とともに社会環境、家庭環境の影響を受けて育つのであることを忘れてはならない。この三者の教育作用と影響力を考えると誠に憂慮すべき問題が多過ぎるのではあるまいか。子どもたちをはぐくむ環境様相が、もしアンバランスのまま推移するとすれば、ますますもって青少年の健全育成は容易ではないと言え

める態勢づくりをする。ということがあげられています。本校も校訓に、
英知「進んで学びよく考える子ども」
友愛「へきまわりを守り思いやりのある子ども」
克己「へじょうぶでがんばりぬく子ども」を示し、全職員が保護者の理解と協力を得ながら指導実践を日夜続けました。
しかし、種々問題が生じることから考えても多くの課題があります。特に、「真の思いやり」の大切さを子どもに体得させ生活実践することが大きい課題で

今こそ、国ぐるみで教育を抜本的に見直し、予測し直して教育計画を考え、なんとかして青少年の健全育成を阻んでいる病根とも言える不健康な環境の浄化に努力すべき時だと思ふ。物で榮えて心で滅ぶ」ということばを今一度よく考え、物心両面の文化的調和のある社会づくりと教育で未来に生きる子どもたちへの希望を択したい。

教育には二つの面があります。一つは、時代の変貌に対応して変化発展する面と、もう一つは、いかなる時代にも変わることのない、人間の本质を追求する面であります。小学校教育は、二十一世紀の社会を展望しつつ、将来その社会に立派に適應できる人間の育成と、不易の理想的人間像を追求して行なわれなければならない。

町民の皆様方にも、町民憲章にもある「温かい心のふれ合い」をより強め、広げていただき、子どもたちを見守ってほしいと念願するものです。
おわりに、年頭に際し、世阿弥の三句を皆様とともにかみしめ、実践したいと存じます。
初心不可忘
時々ノ初心不可忘
老後ノ初心不可忘
此三句能々可爲口伝

あろうことは間違いないと思えます。そのような展望のもとに、あるべき人間の姿を求めると、
1、徳性豊かで思いやりのある人間
2、心身ともに健康で充実した生活を創造できる人間
3、豊かな国際感覚を持ち、世界の平和に貢献できる人間であると思えます。
本校の教育目標は「人間性豊かでなにことも最後までやりぬく児童の育成」であり、目ざす児童像として、
①明るく（すなおで礼儀正しい子ども）
②仲よく（仲よく力を合わせる子ども）
③たくましく（深く正しく考える子ども）
根気強くやりぬく子ども

井関小学校長

乃 美 昭 介



特に指導の上で留意したいことは、あたたかい人間関係を育てる教育の展開であります。思いやりのある、心の豊かな児童の育成は、国際感覚を身に付けた徳性豊かな人間を形成していくための根幹であると思えます。

急速な進歩と、情報化、国際化がますます進展していく社会で

たくましい阿知須の子を育てる

町民の広場

1 月 27 日

池田高校野球部・蔦監督の講演も

本町は地域ぐるみで「たくましい阿知須の子を育てる運動」に取り組んでいます。この運動をさらに力強く推進していくために「たくましい阿知須の子を育てる町民の広場」を次のとおり開きます。

- ▽主催 町教育委員会、たくましい阿知須の子育成協議会
- ▽日時 一月二十七日(日)午前八時半受付開始
- ▽会場 町公民館三階大講堂
- ▽内容 私の実践(意見発表)講演「能力の差は小さく 努力の差は大きい」(徳島県立池田高校講師、同校野球部監督・蔦文也先生)
- ▽参加方法 町内の幼稚園、保

育園、学校に参加を割り当てていますが、一般参加(高校生以上)も歓迎します。希望者は一月二十一日(月)までに町教育委員会へ申し込んでください。

ぼくの学校 わたしの学校

- 〈阿知須小学校〉
- 8日 始業式
- 17日 低学年参観日
- 24日 高学年参観日
- 〈井関小学校〉
- 8日 始業式
- 9日 貯金日
- 18日 集金日
- 22日 参観日、進学説明会

短歌

御題 「旅」によせて

平海 アサノ
若き日の旅にて行きし思ひ出の壺坂寺のおさと沢一
藤重 アヤ子
夏鳥は旅たちしらし湾内は秋ふかまりて鴨の群れ飛ぶ
松尾 君代
一泊の旅に夫出て静かなり泊りに来し孫黙々と字を書く
正司 ウメノ
済南より北京に向かう汽車の旅窓に見えたる沓えし半月

木原 百合雄
二人にて旅せし先の数あれどたおれし妻と今は果たせず
藤重 幾代
北九州空襲の編隊仰ぎ見き面会の旅の一夜忘れず
松代 二郎
白秋師等と夏旅したる樺太よいまサハリンは凍てつきていむ
中本 幸枝
旅先で土産にと買ひし伊豫餅思ひ出語り娘と裁ちてをり
師井 恭枝
車窓より夕陽見えつ伊勢路の旅わが乗る汽車はひたはしりゆく
桜井 文字

阿知須中学校
7日 三年統一テスト
8日 始業式
10日 諸会費納入日
22・23日 三年三者懇談
26・29日 三年学年末テスト

町内駅伝の成績

十二月九日に行われた第三十五回町内駅伝大会の成績は次のとおり。

▽順位 ①砂郷(西田浩一、安藤肇、西村修、松浦完治、西村均、佐々木孝明、国重康彦) ②赤浜A③巨岡④小古郷⑤東条⑥岩倉⑦鴨生原⑧飛沖⑨河内・源河⑩赤浜B⑪前山⑫玉川

▽区間賞(敬称略) 一区 水本宙宏(鴨生原) 二区 金重由美(小古郷) 三区 阿川賢裕(巨岡) 四区 松浦完治(砂郷) 五区 池本保博(東条) 六区 北野照正(巨岡) 七区 青木則篤(巨岡)

阿知須町民憲章

一、勤労を尊び、奉仕の精神で励みます。
一、スポーツに親しみ、健康で明るくらしを築きます。
一、生涯を通して学び、生業を通じた学び、うるおいのある生活を求めます。
一、きまりを守り、温かい心のふれあいを広げます。
一、伝統と自然を大切にし、住みよいまちをつくります。

〈訂正とおわび〉 本紙の先月号(No.396)の記事中、八ページの公益社の町内の電話番号が三三三三番となっていました。二三五〇番の誤りでした。

宝船七福神をのりこませ千両万両のお宝積まむ
村谷 キク
東京へ旅のつづきの楽しくて大阪神戸の旅はつづきぬ
古谷 ハナコ
人の世は日日を送る旅なれば心ゆたかに生きんと思ふ
上村 桃枝
磯の香の仄かに残る貝にみな年月記して小箱に納む
村田 ウメノ
土曜日に中学生の慰問受く午後のはしき時をすこせり
広重 ツルノ
草も木も枯れたる野辺に一人居てみだの本願心に思ふく

町がわ見る絵

(11月30日現在) ()カッコ内は58年
世帯 2,260戸 (2,247戸)
人口 8,382人 (8,387人)



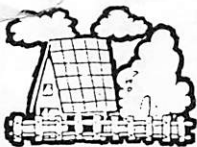
転入 年間 328人 (268人)
転出 年間 326人 (297人)



死亡 年間 77人 (73人)



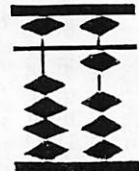
出生 年間 77人 (76人)
男41人 女35人



世帯構成
1世帯 3.71人 (3.73人)



町 (58年当初予算)
町民税 1人当 28,300円
固定資産税 1世帯当 110,316円



町の子算
1人につき 193,243円 (195,208円)



婚姻 年間 68組 (134組)



町職員 92人 (95人)

町がわ見る絵

(12月1日現在) ()カッコ内は58年
世帯 2,260戸 (2,247戸)
人口 8,382戸 (8,387人)



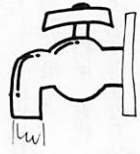
白黒テレビ 86台 (86台)
カラーテレビ 2,100台 (2,067台)



局線電話 2,360台 (2,313台)
有線電話 1,662台 (1,643台)



軽自動車 1,675台 (1,492台)
二輪・原付 1,305台 (1,166台)



水道加入戸数 1,577戸 (1,398戸)



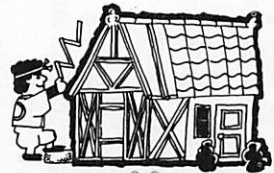
教員 阿小 21人 (21人)
井小 11人 (11人) 阿中 23人



タバコ 1人1日 5.6本 (6.1本)



交通事故 年間 150件 (103件)



建築 年間 108件 (112件)
建築確認申請 (新・増・改築)

わすれないでネ

1月のメモ

- 1日 元日に集う会 (岡山霊廟広場、前7時開会)
- 4日 役場ご用始め
- 5日 消防出初め式
- 6日 体力づくり耐寒ハイキング (前9時公民館前集合) 親と子の本読みの会 (公、前10時)
- 8日 健康相談 (役、前9時半) 育児相談 (役、後1時半)
- 9日 幼児学級 (公、前9時半)
- 10日 俳句教室 (公、後1時)
- 12日 献血 (役、前9時)
- 17日 心配ごと相談、交通事故相談 (公、前10時)
- 22日 婦人学級 (公、前9時半) 乳幼児衛生教育 (役、後1時) 切り絵教室 (公、後1時半) (役=役場、公=公民館)

今月の納税～1月～

- 町県民税
- 国民健康保険税

町消防団の出初め式は一月五日(土)午前九時から町体育センター前で行われます。式後は消防ポンプ操法、鈴割競技、五色放水などがあります。

行事開始の八時二十分にサイレンを一分間鳴らしますので、火事と間違われぬようお知らせします。

また、干拓の草焼きは一月二十七日(日)に行われる予定です。

「網を盗らないで」

干拓で野鳥の調査

環境庁の鳥類標識調査が阿知須干拓地で行われています。カスミ網を仕掛けて野鳥を捕え、足に標識をつけて再び放しどこへ移動するか調べるためのものです。

干拓地内に仕掛けてある網

おしらせ



阿知須干拓で バード・ウォッチング 野鳥観察の会

野鳥を観察しようという「探鳥会」が財団法人日本野鳥の会の主催で開催されます。

▽日時 一月十三日(日)午前九時半～十二時

▽場所 阿知須干拓一帯

▽参加方法 当日九時半までに町役場前庭に集合してください。解散は現地です。無料

がときどき盗まれます。学術調査に使っているので盗まないようにしましょう。

善意は
こころに

〈町社会福祉協議会へ〉

注意するとよい 両具・防寒具 服装



▽問い合わせ先 町教育委員会

出生 (おすこやかに)
親の名続柄子の名月日 住所
堤健次郎長男 圭五 11・26 惠比須
田中義樹長男 佑樹 11・30 飛石
藤村誠二女 真衣 11・26 赤迫
死亡 (冥福を祈ります)
氏名 死亡日 年齢 住所
新谷 博 11・30 46 沖の原
繩村 灘市 12・3 81 砂二
石地マサノ 12・6 77 沖の原
(十二月十五日受付分まで)

あじす
あじす
あじす
(届出順)

◇篤志匿名34回